

平成26年度事業報告書

1. 新庄土地改良区の状況

(1) 受益面積 3,072ha (2) 組合員数 1,609人

2. 各事業の実施状況

(1) 基幹水利施設管理事業（清水地区）

◇事業主体：山形県 ◇事業費：84,470千円

◇負担割合：国（30%） 県（40%） 市（10%） 区（20%）

◇対象施設：清水揚水機場、駒場頭首工、国営第1号幹線用水路上流部等

◇事業内容：山形県発注により1号幹線用水路の6号排泥バルブ及び芦沢制水弁蓋板の補修を実施した。山形県より施設管理の一部を受託（受託料80,249千円）し、各施設の点検整備を実施し、電力料及び施設管理人件費を支出した。



排泥バルブ更新

(2) 基幹水利施設管理事業（小月野地区）

◇事業主体：山形県 ◇事業費：15,400千円

◇負担割合：国（30%） 県（40%） 市（10%） 区（20%）

◇対象施設：小月野揚水機場

◇事業内容：山形県より施設管理を受託（受託料15,394千円）し、各施設の点検整備を実施し、電力料及び施設管理人件費を支出した。



芦沢制水弁蓋板補修

(3) 国営造成施設管理体制整備促進事業

◇事業主体：新庄市 ◇事業費：18,310千円

◇負担割合：国（18.75%） 県（9.375%） 市（9.375%） 区（62.5%）

◇対象施設：(1)(2)以外の国営幹線用水路、県営排水路、県営揚水機場、中央管理センター等

◇事業内容：新庄土地改良区が管理主体となり、各施設の点検整備を実施し、電力料及び施設管理人件費を支出した。



清水揚水機場真空遮断機補修

(4) 基幹水利施設ストックマネジメント事業（新庄1地区）

◇事業主体：山形県 ◇事業費：10,000千円

◇負担割合：国（50%） 県（25%） 市（10%） 区（15%）

◇事業内容：清水揚水機場真空遮断機のオーバーホール、避雷針の更新を実施した。



清水揚水機場避雷針更新

(5) 堤沢地区ため池等事業

◇事業主体：山形県 ◇事業費：348,640千円

◇負担割合：国（55%） 県（32%） 市（11%） 区（2%）

◇事業内容：堤体工、波除護岸工、斜樋工、取水工ゲート一式を実施した。



堤沢ため池波除護岸工事

(6) 上野地区経営体育成基盤整備事業

◇事業主体：山形県 ◇事業費：81,160千円

◇負担割合：国（55%） 県（27.5%） 市（10%） 区（7.5%）

◇事業内容：暗渠排水工9.2ha、計画変更業務、確定測量、換地業務一式を実施した。



上野地区権利者会議

(7) 河川内水利施設適正化事業

◇事業主体：山形県 ◇事業費：20,000千円

◇負担割合：国（60%） 県（22%） 市（18%）

◇事業内容：新田川の勇堰用水、升形川の惣右衛門堰、善助堰、泉田川の滝の倉第一揚水機、上山崎第一揚水機の5箇所の井堰撤去測量設計を実施した。



勇堰用水撤去工事

(8) 新庄土地改良区単独維持管理事業

◇事業主体：新庄土地改良区 ◇事業費：35,713千円

◇負担割合：区（100%）

◇事業内容：対象施設の点検整備を実施し、電力料及び施設管理人件費、各地区維持管理交付金等を支出した。

3. その他の事業及び取り組みについて

(1) 経営安定対策基盤整備緊急支援事業

◇経営所得安定対策加入者等に農地の集積を図る業務に取り組み、各地区毎に下記の助成金を受け、組合員負担の軽減を図った。

鳥越市野々地区400千円、桂地区790千円、上ミ野地区1,260千円

(2) 新庄市消流雪用水事業

◇12月上旬から1月上旬にかけて降雪が多かったが、指首野川の水位が低下した1月21日～2月24日までの内25日間、朝昼晩各2時間ずつ、毎秒0.6m³（総量281,620m³）を通水し、新庄市街地の排雪対策に貢献した。放流場所は、中の川（7-2分水工）、指首野川（指首野余水吐工）の両河川と円満寺地区（7-3分水工）の用水路となっている。

(3) 小水力発電実証実験事業

◇平成25年度に実施した国営第1号幹線用水路を活用した小水力発電の概略設計について、対象施設に圧力計を設置し、実際の発電可能性を検証した。また、昨年に引き続き、新庄神室産業高校の生徒と連携し、飛田用水堰を活用したマイクロ水力発電の実証実験及び広報活動を実施した。